

だいぶ



飯塚市立大分小学校学校通信
第8号令和5年12月1日発行
左のQRコードでホームページも
併せてご覧ください。
発行者：校長 近藤 義徳

ウォーキングフェスタ

11月2日（木）秋晴れの中、ウォーキングフェスタを実施しました。1年から6年生の縦割りグループで、校区内を歩き、最後は筑穂グラウンドへ到着し、みなでお弁当を食べたり、遊んだりしました。本年度は、子どもたちが食に関心を持ち、自分自身の健康を気遣うとともに家族への感謝の気持ちを育てるために、ウォーキングフェスタの日に「お弁当の日」を設定しました。また、縦割りグループで遊ぶ内容などを話し合わせ、自分たちで楽しい活動を創り上げることができるようになりました。

当日は、平嶋穂積さん（学校運営協議会副会長兼子どもを守る会代表）と近藤哲司さん（飯塚地域交通安全活動推進委員協議会副会長）にボランティアとして参加していただき、チェックポイントである大分八幡宮と九郎原駅で各グループのカードにシールを貼っていただきました。



アイアイだいぶ地産地消コーナー

一学期に社会科の学習で、3年生がアイアイだいぶを見学させていただき、売り場の様子の工夫や仕事の様子について調べました。その際、野菜売り場だけが2つあることに気づき、なぜ2つあるのかという問いを持ちました。調べていくと、地産地消コーナーが設置してあり、地域の方が野菜を出品していることがわかりました。

さらに、なぜ地産地消コーナーに野菜を出品しているのか、どんな野菜をどのようにして育てているのか知りたくなり、11月20日（月）に野菜を出品されている山下伊都子さんと安部浄子さんに来校いただき、説明していただきました。

子どもは、「野菜や水の管理を上手にしてすごいと思いました。特に、安部さんの大根は、葉も一緒に売っていてすごいと思いました」「野菜を育てるときに、虫が来ないようにできるだけ薬の量を減らしたり、水のかけ方を工夫したりすることなど、大切なことが分かってよかったです」と感想を述べていました。



瑞穂の郷訪問

11月14日（火）に、2年生が生活科の学習で、瑞穂の郷デイサービスセンターを訪問し、大根まつりを実施しました。生活科の学習では、子どもたちが身近な幼児や高齢者などの多様な人々と触れ合うことが大切であると言われています。そして、言葉だけでない様々な方法によって情報を伝え合う活動を行うことによって、互いの関係を一層豊かにし、社会の一員として誰とでも仲良く生活できるようになることが期待されており、子どもの自発性を大事にした交流が求められています。

瑞穂の郷では、自分たちが植えた大根がおいしく、大きくなるよう学校で実施した大根まつりに、『元気に 長生きしてほしい』『大根食べて 元気になって 長生きして パワー』など、お年寄りの健康を願う掛け声を付加した大根まつりを披露しました。その後、お年寄りの肩をもんだり、お手玉や折り紙で遊んだりして交流しました。最後に、一人一人に大根をプレゼントしました。

子どもは、「瑞穂の郷の皆さんと大根まつりをして、お手玉や折り紙、肩もみをして楽しかったです。」と感想を述べていました。



持久走大会

11月21日（水）に持久走大会を実施しました。1・2年生は750m、3・4年生は1km、5・6年生は1.5kmの距離を走りました。この日に向け、個人のめあてを持たせて、11月6日より中休みにトラック内を走る「走ろう会」を実施して、練習に取り組ませました。

多くの子どもが、自分の記録が伸びたり、最後まで走り切ったりして達成感や成就感を味わうことができたようです。



【12月の主な行事予定】

- 12月 4日（月）友だちアンケート週間
- 12月 5日（火）クラブ活動
- 12月 6日（水）6年こどものクラシックコンサート
- 12月 7日（木）4年あかね園との交流
- 12月 8日（金）5年スチューデント・シティ体験学習
- 12月13日（水）4年チャレンジテスト
- 12月14日（木）4年しめ縄づくり
- 12月18日（月）個人懇談会
- 12月19日（火）個人懇談会
- 12月20日（水）5・6年性暴力対策事業、個人懇談会
- 12月21日（木）給食終了
- 12月22日（金）終業式

◇ 学校の実践などについてのご感想・ご質問・ご要望などありましたらご記入いただき、ご提出ください。

（お名前 _____）

令和 5年11月15日号 発行：筑穂交流センター 《休館日…第1・3日曜日》

ちくほ 2023年 11月号

交流センターだより

No. 070 〒820-0701 飯塚市長尾1340番地 電話：72-2204 FAX：72-2426

男	4,413 人	世帯	（+3）
女	4,367 人		（-2）
合計	8,780 人		（-10）

【大分の平嶋さんから大分小学校に新米60kgが贈られました】

大分在住の平嶋正雄さんは、30年来、大分小学校5年生が行う田んぼでの「田植え・稲刈り体験」の場を提供してくれています。



このたび、平嶋さんから大分小学校に新米（夢つくし）60kgが贈られ、大分小学校全児童と先生達（約200食分）の給食（10月19日、23日、27日、30日）の米飯として登場しました。

10月27日には、5年生の給食の時間に平嶋さんを招待、24名の児童たちが平嶋さんにお礼を伝え手紙を渡し、平嶋さんと一緒に新米を食しました。給食の残菜率の少ない（約0.7%）大分小学校ですが、この日も残さずに給食を食べ終え、「美味しかった」と平嶋さんに感想を伝えていました。